

地方創生推進交付金 効果検証シート

交付対象事業の名称	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業				
総合戦略における位置付け	選ばれるベッドタウン	事業実施期間	令和2年4月～令和3年3月		
事業の概要	松山市・東温市・砥部町で構成する「広域観光連携推進協議会」による『松山圏域連携中枢都市圏での観光連携に向けた取組み』として、瀬戸内海エリアや近隣市町の観光素材をつなぎ合わせた旅行商品の開発などにより、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る。				
具体的な取組み		取組みの成果			
【誘致宣伝事業】 2市1町への観光客の誘致宣伝を図るため、東京都、広島市など各地に赴き宣伝活動を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。		県外での誘致宣伝を4回予定していたが、コロナの影響で全て中止となった。 ・広島市：3回 ・東京都新宿区：1回			
【パンフレット等誘致宣伝物作成事業】 更なる情報発信や誘客を図るため、パンフレットを増刷した。		誘致宣伝のため、広域パンフレットの内容を校正し、増刷した。 ・広域パンフレット「EMOTABI」の増刷5,000部			
【周遊観光促進事業】 ウィズコロナ時代の観光スタイルとして「マイクロツーリズム」や「グリーンツーリズム」が注目される中、県外はもとより県民が地元の魅力を再発見することを目的にモデルコースを造成し、PRを行った。		①2市1町を周遊するモデルコースを造成(4コース)し、PRを行った。 ②松山市公式観光情報WEBサイトに紹介ページを作成し、掲載した。 ③WEBサイト「楽天トラベル」内に特集ページを掲載し、インターネットを活用した情報発信を行った。			
事業費内訳	交付決定額	実績額	事業実績経費内訳		
	557,000 円 ※1/2国庫補助	557,000 円	広域観光連携推進協議会負担金	1,114,000 円	
重要業績評価指標 (KPI)	地方創生推進交付金	基準値 (平成27年度)	実績値 (令和2年度末)	最終目標値 (令和2年度末)	達成率
	松山市の観光入込客数	580万人	414万人	600万人	69.0%
	松山市の外国人観光客延べ宿泊者数	96,100人	28,400人	226,100人	12.6%
	砥部町総合戦略	現状値 (平成30年度)	実績値 (令和2年度末)	最終目標値 (令和6年度)	達成率
	観光客入込数	1,147,339人	775,735人	1,262,000人	
事業評価	担当課	審議会委員	(評価基準)		
	1 2 ③ 4	1 2 ③ 4	1.全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られた 2.KPIの目標値は達成できなかったが、概ね成果が得られた 3.KPIの目標値は達成できなかったが、一定の効果はあった 4.KPIの目標値の達成ができず、効果がなかった		
審議会委員による評価、意見 今後の検討課題等	<p>周遊観光促進事業では、地域の身近な魅力を発見できるモデルコースを造成するとともに、デジタル広告やSNS拡散などもうまく使って情報発信しており、域内の交流人口増による地域経済の活性化につながっていると思う。</p> <p>コロナの影響で十分な取り組みができなかったことは仕方のないことであったと理解できる。今後、「トベワンダーフォレスト（とべもり）」や砥部焼を最大限活用し、2市1町の周遊観光が盛り上がることを期待したい。</p> <p>旅は多くを回るコースよりも民家に泊まって農業体験、砥部焼体験、釣り体験など、集中して体験するコースの提案もあると良いのではないかと。また、観光客の誘致にあたっては、中予圏域から東予・南予への旅に出るような逆発想や他の地域との連携も必要なのではないかと。</p>				